

菊池溪谷



うっそうとした森の間を澄みきった水がゆったりと流れる菊池溪谷。限府から車で約30分。真夏でも涼しい溪谷は、早朝から多くのカメラマンたちでにぎわい、水辺で遊ぶ子どもたちの声が響いていました。

溪谷内には大小さまざまな滝や瀬・淵があり、林野庁が制定する「森林浴の森日本百選」に選ばれ、「日本の滝百選」の一つ「四十三万滝」など、見どころも多くあります。阿蘇くじゅう国立公園内の標高500〜800mに位置し、天然生広葉樹で覆われた森と阿蘇外輪山から湧き出した伏流水が変化に富んだ景色を創り出しています。

春は冬の眠りから覚めたようなまぶしい新緑、秋は溪流に寄り添うように広がる紅葉、冬は全山に咲く霧氷の花など、四季を通じて訪れる人々の心を癒やしてくれる場所です。

年間約12万人が安らぎを求めて訪れる菊池溪谷は、平成29年に菊池川流域日本遺産の構成文化財の一つとしても認定されています。今月はその魅力と取り組みについて紹介します。

菊池溪谷の歩み(主に指定関係)

- 昭和9年12月 阿蘇くじゅう国立公園に指定
- 昭和44年11月 林野庁指定
- くまもと自然休養林となる
- 昭和46年12月 菊池溪谷保護管理協議会設立
- 昭和49年4月 菊池溪谷を美しくする会設立
- 昭和60年1月 熊本の自然百選に選定
- 昭和60年1月 くまもと緑の百景に選定
- 昭和60年3月 日本の名水百選に選定
- 昭和61年4月 森林浴の森百選に指定
- 平成2年4月 日本の滝百選に指定(四十三万滝)
- 平成7年8月 水源の森百選に認定
- 平成8年 新しくもと百景に認定
- 平成15年4月 菊池溪谷を美しくする保護管理協議会に統一
- 平成28年4月 熊本地震発生
- 平成30年3月 2年ぶりに一般開放



日本遺産



菊池川流域

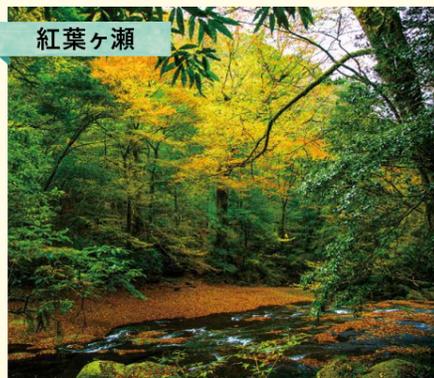
阿蘇くじゅう国立公園

菊池渓谷

ガイドマップ



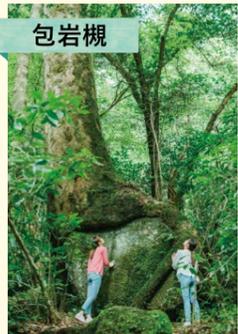
▲黎明の滝 水しぶきの上がる様子が夜明けの霧を思わせることから名付けられた滝。



▲紅葉ヶ瀬 カエデやケヤキなどが色づく姿を見ることができ、真っ赤なモミジの絨毯が広がります。

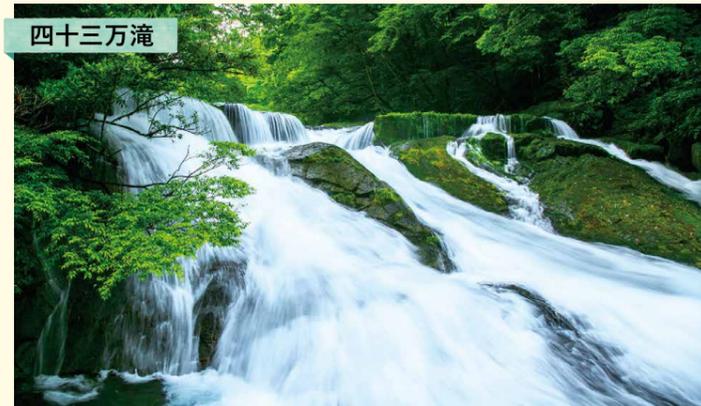
溪流と豊かな森が織りなす、四季折々の絶景

菊池渓谷は、阿蘇外輪山の北西部、標高500～800mの間に広がる「自然休養林」「憩いの場」です。緩やかな遊歩道を登ると、連続するいくつもの滝や瀬、淵に出会えます。滝のしぶきや瀬のせせらぎは四季折々の渓谷美を伝え、人々の心と体を癒やします。小鳥のさえずりを聴きながら、森林浴をお楽しみください。



包岩槻

◀包岩槻 阿蘇の噴火で発生した噴石を木の根が抱え込み、その後の浸食で地表に現れたものといわれています。



四十三万滝

▲四十三万滝 九州日日新聞社の景勝地百選で43万票を集めたことから命名。1日平均水量43万石(約7.8万ト)が由来とする説も。



詳しい菊池渓谷の情報を見ることができるデジタルサイネージを設置

昨年度より渓谷の名所や動植物の説明を詳しく見ることができデジタルサイネージがビジターセンターに導入されました。



キツネノカミソリ (7月中旬～下旬)

▶広河原 広々とした眺望が楽しめる菊池渓谷随一の撮影スポット。四季を通じて訪れる人の心を和ませてくれます。夏の早朝には光芒が現れることも。この景色に出会えた人は幸運!



夏の広河原



秋の広河原

40年以上、菊池渓谷でヤマメを焼き続けています。今年は特に気温が高く、渓谷に来る人が多いと感じています。大切にしているのはお客さんへの声掛けです。「いつでもらっしゃい」「おつかれさま」と行き来する皆さんとコミュニケーションをとっています。

うちのヤマメは、本来の味を楽しんでほしいから塩は少なめ。焦げ目が付くぐらいにしつかり焼いています。食べた人が「おいしいよ」とヤマメをほおぶる姿を見るとうれしくなりますね。これからも来てくれた人に喜んでもらうためにおもてなしを続けます。

渓谷の玄関で皆さんをお迎えします



後藤英明さん

菊池渓谷で長年ヤマメの塩焼きを販売

協議会では、ゴミの処理や遊歩道の整備などを行っています。私自身、九州内のいろんな渓谷に行きましたが、菊池渓谷の景色が一番好きです。市街地からも近く、手軽に散策できる場所は、西日本でも多くはないのではないのでしょうか。ぜひ多くの皆さんに渓谷の自然を見てほしいですね。

自然を守っていくことはもちろんですが、来てくれた人たちがけがなく散策できるようにするのも私たちの仕事です。これからも美しい渓谷を安全に楽しく散策してもらうために、協議会が一丸となって、活動を続けていきます。

楽しく安全に散策してほしい



岡本政秀さん

菊池渓谷を美しくする保護管理協議会



「菊池渓谷を美しくする保護管理協議会」の皆さん。今年5月、森林レクリエーション地域美しの森づくり活動コンクールで林野庁長官賞を受賞



森林インストラクターから植物について説明を受ける参加者たち



熊本地震直後の広河原。渓流の水は濁り、大規模な崩落や落石が発生した



広河原

渓谷は菊池市民の誇り—

昨年、来場者の約1割が外国人観光客を占めており、国外からも注目集める菊池渓谷。さらなるにぎわいを目指して取り組みが進んでいます。

自然の魅力を伝えたい

「あの鮮やかな色の花は何ですか」「これはキツネノカミソリですね」。7月に菊池渓谷で行われた「探検in菊池渓谷」では、熊本県森林インストラクター協会のガイドが花や植物などの名前や生態を紹介し、自然の魅力を解説していました。「菊池渓谷の魅力を多くの人たちに伝えたい」と思いイベントを企画しました」と話すのは、菊池渓谷ビジターセンターを管理する「株あんしんCO.LTD」の植田雅治さん。同社では渓谷を訪れる人を増やそうと、体験イベントやミニコンサートを開いています。

ビジターセンターは令和2年にリニューアルし、一面ガラス張りで見渡せる休憩スペースを新設しました。渓谷の天然水で入れるコーヒーや菊池のコメを使ったおにぎりなどを販売する他、地元の名産品や農産物をそろえた売店もあります。

「今年の夏は猛暑が続き、昨年に比べて渓谷を訪れる人が

入り口やトイレに消毒液を設置するといった対策を講じ再開を果たすなど、何度もの苦難を乗り越え、訪れる人を出迎えてきました。

「コロナ禍を経て、心身を癒やす菊池渓谷の価値や魅力に気付く人も多いのではないのでしょうか」と話すのは市観光振興課の前島起参事。今年は来場者からの要望もあり、例年より1カ月早い3月1日に渓谷を開場しました。外国からの個人客も増え、市ではさらなるにぎわいの創出に期待を込めます。

もつと魅力的な観光スポットに

新たな取り組みも進んでいます。一昨年から始まったのは夜間のライトアップイベント。秋に色づく渓谷の夜を色とり



観光振興課観光振興係 前島 起 参事



菊池渓谷ビジターセンター 植田雅治さん

多いと感じています」と植田さんは続けます。「9月もまだまだ残暑が続きます。散策した後にはビジターセンターでゆっくりしてほしいですね」

何度も苦難を乗り越えて

菊池渓谷は災害による長期閉鎖や新型コロナウイルス感染症予防による入谷制限など、これまで多くの苦難に直面してきました。平成24年の九州北部豪雨では土砂が崩れ遊歩道が損壊。1年以上通行制限が続いた他、平成28年には熊本地震に見舞われ、渓谷につながる県道や遊歩道沿いの斜面が崩落。復旧工事で2年間閉鎖を余儀なくされました。

復興を象徴するビジターセンターリニューアルオープンの直後には新型コロナウイルス

どりのライトが鮮やかに照らします。

「昨年の来場者からは『きれい』『昼間と違う趣がある』などと好評でした。今年も11月に開催します。普段と違う渓谷の姿を味わってほしいです」と前島参事は続けます。

市が令和3年に実施した観光動態調査によると、菊池渓谷は市内で最も人気の高い観光スポット。7割近くが満足と回答し、満足度は1番高い結果でした。しかし、その一方「もう何十年も行っていない」という市民の声も聞きます。

「菊池渓谷は、間違いなく菊池の誇り。地域の皆さんが『いいところだよ。遊びにおいでよ』と口コミで広がっていくことで、菊池渓谷はもつと魅力的な観光スポットになっていくのではないのでしょうか」と前島参事は力を込めます。

菊池渓谷は国立公園として指定され90周年を迎えます。四季折々の自然を楽しむことができる九州有数の景勝地で自然を感じてみませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。

今年も開催予定！

菊池渓谷ファンタジーナイト

幻想的な光が菊池渓谷の木々や清流を照らし出します。初日は点灯式も開催予定です。ライトアップされた夜の渓谷を今年もお楽しみください。



- ◆と き 11月1日(金)～10日(日) 午後6時～8時30分
- ◆入場料 1人 500円 ※時間や入場料は変更になる場合があります
- ◆内容 渓谷入口から竜ヶ淵をライトアップ予定
- ◆主催 菊池渓谷を美しくする保護管理協議会 ☎0968(25)7223 (観光振興課)



昨年のファンタジーナイトには市内外から約3,200人が訪れた

菊池渓谷ガイド

- ◆開場期間 3月1日～11月30日 午前8時30分～午後5時

上記の期間以外も入谷できますが係員は不在です。事故のないように気を付けて入谷ください。

- ◆維持管理協力金 高校生以上 1人300円

協力金は、菊池渓谷を守り後世に伝えていくための自然保護活動や入谷者の安全、利便性向上のために使用します。

菊池渓谷に関する問い合わせ先

- 観光振興課 ☎0968(25)7223 菊池渓谷ホームページ➡



菊池渓谷ビジターセンター

- 【開館時間】 午前8時30分～午後5時 ※冬期は閉館 ☎0968(27)0005

菊池渓谷の入口にある観光情報発信施設。中はガラス張りになっており、施設内においても自然の中にいるように感じられます。特産品や軽食、ヤマメの塩焼きなどの販売の他、観光情報を提供しています。イベントの情報はホームページをご覧ください。

